

広域観光・文化振興の取組

■ 「関西観光・文化振興計画」に沿った施策の展開

平成 24 年 3 月に、関西から日本の元気を取り戻し、観光から日本の元気を取り戻すという高い目標を掲げて「関西観光・文化振興計画」を策定。平成 30 年 3 月の連合議会で、ゴールデン・スポーツイヤーズを控えたスポーツ観光の推進、文化庁の本格移転を契機とした文化観光の推進、一般財団法人関西観光本部を中心とした推進体制への確立などの内容を盛り込み、計画の改定を行いました。

この新たな計画に基づき、観光・文化振興に取り組む自治体や関係機関、経済団体等と連携し、関西一体となった戦略的な取組を進めています。

現行計画に掲げた将来目標等

- ・ 将来目標 関西の将来像を「アジアの文化観光首都・関西」としての地位の確立とする
- ・ 数値目標 関西を訪問する外国人客数 1,800 万人(2020 年)を目指すなど

<目標の達成に向けた7つの戦略>

1. 国際競技大会等を踏まえた観光の推進

国際的なスポーツイベントと連動した誘客の推進、文化プログラムの推進、スポーツ・ツーリズムの推進

2. 文化力の向上と文化観光の推進

「文化首都」としての関西文化の発信、文化庁との連携、文化芸術資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業の展開など

3. 外国人観光客の急増対策としてのインフラ整備の充実

「KANSAI ONE PASS」「KANSAI Wi-Fi (official)」の利便性向上、IoT・ビッグデータなどの新技術の活用など

4. 「KANSAI」のさらなる知名度アップ

世界水準の広域観光周遊ルート of 推進「KANSAI 国際観光 YEAR」の展開、「KANSAI」の世界への発信など

5. 旅行消費額拡大に向けた取組

「モノ消費」「コト消費」を促す情報発信強化、決済環境の変化に対応した整備など

6. 関西観光本部を中心とした推進体制の確立

旅行者の動向把握等によるマーケットの創出、「関西文化の日」など文化に親しむ機会の充実など

7. 今後のさらなる展開

IR 実施法等を見据えた観光・MICE における連携、通訳案内士やボランティア等の育成など

■ 令和2年度予算と事業の見直し

「関西観光・文化振興計画」に沿って戦略的な取組を進めるため、令和2年度当初予算では105,032千円を計上していましたが、新型コロナウイルスの影響により、文化分野で予定していた「日本博」関連イベントを中止するとともに、一部事業費の組み替えを行ったため、8月補正予算後は23,060千円の減額となる82,171千円を計上しています。

また、観光分野については、海外でのプロモーションができないため、デジタルプロモーションを中心とした展開など一部事業の見直しを行っています。

		当初予算	8月補正	補正後予算
1 KANSAIブランドの構築	①【新】関西観光・文化振興計画の策定	1,800千円	0千円	1,800千円
	② KANSAI国際観光YEARの実施	2,038千円	0千円	2,038千円
	③ 海外観光プロモーションの実施	10,186千円	0千円	10,186千円
	④ 関西観光本部事業	35,000千円	0千円	35,000千円
	⑤ webによる情報発信	500千円	0千円	500千円
2 基盤整備の推進	⑥ 通訳案内士等の人材育成	2,500千円	0千円	2,500千円
	⑦【新】関西周遊環境の整備	13,000千円	0千円	13,000千円
3 ジオパークの魅力発信・周遊促進	⑧ 国内外に向けた魅力発信	408千円	0千円	408千円
	⑨ 山陰海岸ジオパーク・南紀ジオパークを巡る周遊観光促進	612千円	0千円	612千円
	⑩【新】ジオパークに通じた人材の育成	0千円	0千円	0千円
4 関西文化の魅力発信	⑪ 関西文化の振興と国内外への魅力発信	2,000千円	0千円	2,000千円
	⑫ 連携交流による関西文化の一層の向上	3,707千円	0千円	3,707千円
	⑬ 関西文化の次世代継承	3,870千円	5,130千円	9,000千円
	⑭ 情報発信・連携交流支援・人づくりを支えるプラットフォームの活用	1,010千円	0千円	1,010千円
	⑮ 新たな関西文化の振興	28,190千円	▲28,190千円	0千円
5 管理費		410千円	0千円	410千円
合計		105,231千円	▲23,060千円	82,171千円

■ 令和2年度の取組状況

1 KANSAI ブランドの構築

(1) 関西観光・文化振興計画

平成23年度に策定した「関西観光・文化振興計画」については、令和4年3月をもって計画期間（10箇年）の満了を迎えることから、有識者等で構成する策定委員会を設置し、新型コロナウイルスの影響など社会経済情勢の変化や大阪・関西万博の開催などを見据えた新たな計画の策定に取り組みます。

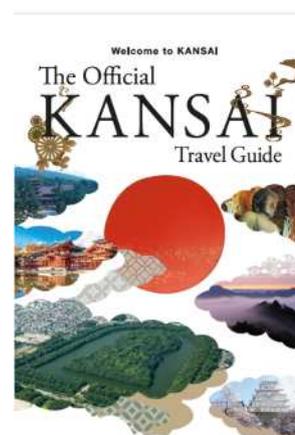
(2) KANSAI 国際観光 YEAR の実施

国際観光圏「KANSAI」のブランドを世界に売り込むため、世界に誇る関西の魅力や強みを毎年1つのテーマに絞って発信する「KANSAI 国際観光 YEAR」を展開しています。

令和2年は、昨年と同様に「ゴールデン・スポーツイヤーズ」をテーマにしています。

来年5月に開催予定の「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」や関西のスポーツ情報をはじめ、関西が世界に誇る魅力的な観光資源を紹介するガイドブック

「The KANSAI Travel Guide」を作成します。



「The KANSAI TravelGuide」

＜参考＞ 2013年「関西の食文化」、2014年「関西のマンガ・アニメ等」、
2015年「関西の世界遺産等」、2016年「関西のスポーツ観光」、
2017年「食を楽しむ観光」、2018年「関西の文化観光」
2019年「ゴールデン・スポーツイヤーズ」

(3) 海外プロモーションの実施

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、令和2年度のトッププロモーション事業は中止としました。

このため、訪日旅行が再開したときに、世界の方々に関西を訪れていただけるよう、豊かな自然環境や歴史・文化遺産などをテーマに関西各地域の観光資源を紹介する動画を制作するとともに、国内観光の需要喚起にもつなげていけるよう、海外だけでなく国内に向けても積極的に情報発信していきます。

(4) 関西観光本部事業

「関西観光・文化振興計画」の推進役として、関西広域連合を含む官民が一体となり設立された一般財団法人関西観光本部が、スポーツ観光や文化観光など関西をア

ピールする様々な観光プロモーションや、参画団体の個性を活かした関西ならではの連携事業等を展開しており、その費用の一部を負担しています。

令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により、デジタルプロモーションによる情報発信や関西域内の周遊促進など将来のインバウンド回復を見据えた準備を進めていきます。

〈関西観光本部の主な活動〉

① 関西の現地情報の収集と分析

② 関西の訴求力を高めるための準備

- ・ 関西への旅行動機を高める機運醸成動画の制作・配信
- ・ インバウンド回復時の効果的な事業展開の企画・検討
- ・ 広域観光・周遊ルート（プラスワントリップ事業）の着実な形成推進
- ・ 広域観光・周遊ツールの整備
- ・ テーマ型観光ルートの形成のための調査事業の実施
- ・ 訴求力のある海外旅行誌やガイドブックへの掲載

③ インバウンド回復時の効果的な活動のための方策

- ・ エージェント等を対象としたファミトリップやメディアツアーの企画
- ・ 海外番組の招請企画
- ・ オール関西でのプロモーション体制の構築 など

(5) WEBによる情報発信

情報の発信力を高めるため、関西観光本部のHPである「The KANSAI Guide」に関西広域連合のWEBを統合し、従来からのSNSも合わせて多言語による情報発信を行っています。

令和2年度は、各構成府県市や民間の観光に関する取組やキャンペーン情報などを一元的に紹介する特設サイトを関西観光本部のホームページに開設しました。



【The KANSAI Guide】

2 基盤整備の推進

全国通訳案内士等への人材育成や、特設サイトによる情報発信、KANSAI Wi-Fiの運用、「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」に向けた開催地の観光情報の発信など、関西域内の周遊を促進する環境整備を進めてまいります。



通訳案内士研修

3 ジオパークの魅力発信・周遊促進

関西広域観光の幅を広げ、外国人観光客の関西圏内の周遊を促進するため、関西にある優れた地質景観スポットを提案・PRを実施しています。

令和2年度は、昨年度に引き続き、関西観光本部のWEB内でジオパークに関する情報発信を行うとともに、訪日外国人のジオパーク周遊を容易にするため、ガイドの人材育成等を図ります。

4 関西文化の魅力発信

(1) 関西文化の振興と国内外への魅力発信

関西2府8県4政令市の美術館・博物館・資料館等の文化施設等の協力を得て常設展等を無料とする「関西文化の日」を実施し、関西が誇る長い歴史に培われた豊かな文化資源に気軽に接する機会を提供するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響から回復を支援します。

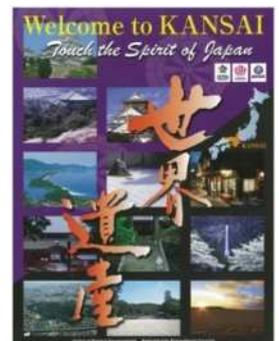
令和2年度は11月14日（土）・15日（日）を中心に関西文化の日を実施するとともに、今年度初の取り組みとして、関西文化の日に合わせて11月に開館時間を夜間に延長する「KANSAI NIGHT MUSEUM」など各館の工夫をこらした企画を実施します。また、関西文化情報サイト「関西文化.com」により、関西各地の様々な芸術文化情報を幅広く情報を発信しています。



(2) 世界文化遺産等発信事業の推進

関西広域連合エリアは、古墳時代から戦国・江戸時代まで国内でも有数の世界文化遺産集積地になっており、観光分野・関係団体とも連携し、フォーラムの開催やリーフレットの作成など、広く無形文化遺産や世界の記憶、ジオパーク、世界遺産暫定リスト登録遺産等も含めて一体的に情報発信を行い、関西の多彩な文化の魅力を発信しています。

令和2年度は11月28日（土）に滋賀県近江八幡市において、歴史文化遺産フォーラムを、歴史街道推進協議会、文化庁地域文化創生本部との共催により開催します。



(3) 新たな関西文化の振興

「はなやか関西・文化戦略会議」委員を中心に、2020年東京オリンピック・パラリンピックやワールドマスターズゲームズ2021関西などの大規模イベントと連携した取り組みなど、WITHコロナ・POSTコロナ社会における関西の文化振興等について意見をいただきます。

令和2年度事業については、7月に開催を予定していたはなやか関西・「日本博・KANSAI」舞台芸能交流フェスティバルを中止し、関西の文化芸術により観光誘客を図るPR動画の作成・配信を実施してまいります。

